

平成24年度 よろっさ やろっさ つなごっさ! 春 まち ぽかぽか プロジェクト



かわらばん! プログラム ③

町会行事に”ふくし”のスパイスを!

「出会い、知り合い、認め合おう」

～ みんなで作るサンドイッチ ～



3月10日(日)11時30分～13時15分
寺井地区公民館 2階大ホールにおいて、
強い寒気と激しい風雨にも拘らず、市民の
方々90人の参加のもと、開催されました。

月	火	水	木	金	土	日
				3/1	3/2	3/3
3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10

内容

地域福祉人づくり委員会が、5年間取り組んできた「地域における福祉教育のあり方」を基本に、

- ※ 障がいがあろうとなかろうと、地域に暮らす全員が、地域の一員だということ。
- ※ 地域の福祉とは、一人ひとりの思いを聴くこと、話し合うことからスタートすること。
- ※ 知り合い、認め合うことで、地域の理解者が増えることにつながり、住み良い地域づくりにもなる。

これらのことを参加者に再確認してもらうことを目的に、楽しいサンドイッチづくりの体験を交えて、昼食をとりながら、ざっくばらんに語り合いました。

地域福祉人づくり委員会委員達が、“ふくしのスパイス”をふりかけることで、既存の地域行事が「ふれあい行事」に変身するということを知りやすい「寸劇」で披露した後、さらに、理解を深めるために、「地域でふれあいを増やすための”ふくしのスパイス”って、何をすることだろう」とグループワークで意見を交換し、知り合い・理解し合う大切さを確認し合いました。

まとめ ……”ふくしのスパイス”って、何をすることだろう のグループワークでの意見

- ◆まず隣近所への声かけをする。(子供を通じた声かけも) 日頃の会話、近所とのつながりを大事にする。
- ◆みんなにどんな事をしたいか聞いてみる。
- ◆食事会の様な多くの人に参加できる催しを計画する。沢山の人の役に引き受けてもらうこと。
- ◆一人一人ちがうのだと思って相手のことを知ろうという気持ちを大切に。 など

参加者の感想

- ・「”ふくし”のスパイスを考える」とても良いテーマで、根気良い声かけや、人と人との交流の大切さなど、話し合いも充実しました。
- ・今まで足りなかった事。今後の方向性が見えた!
- ・サンドイッチの作り合いは良かった。“食”がまず共通の話題となり、テーブル中での会話のきっかけとなる。行事でやってみたいと思った。
- ・楽しく参加させてもらいました。これからも地域活動に福祉の視点を少しずつ入れて行きたいと思えます。声かけがんばります。



寸劇「地域の行事に出ない理由にも配慮できる町会になるために…」、「相手の好きなサンドイッチづくり」両方とも、声掛けと、話し合うことの大切さを確認する体験でした。

